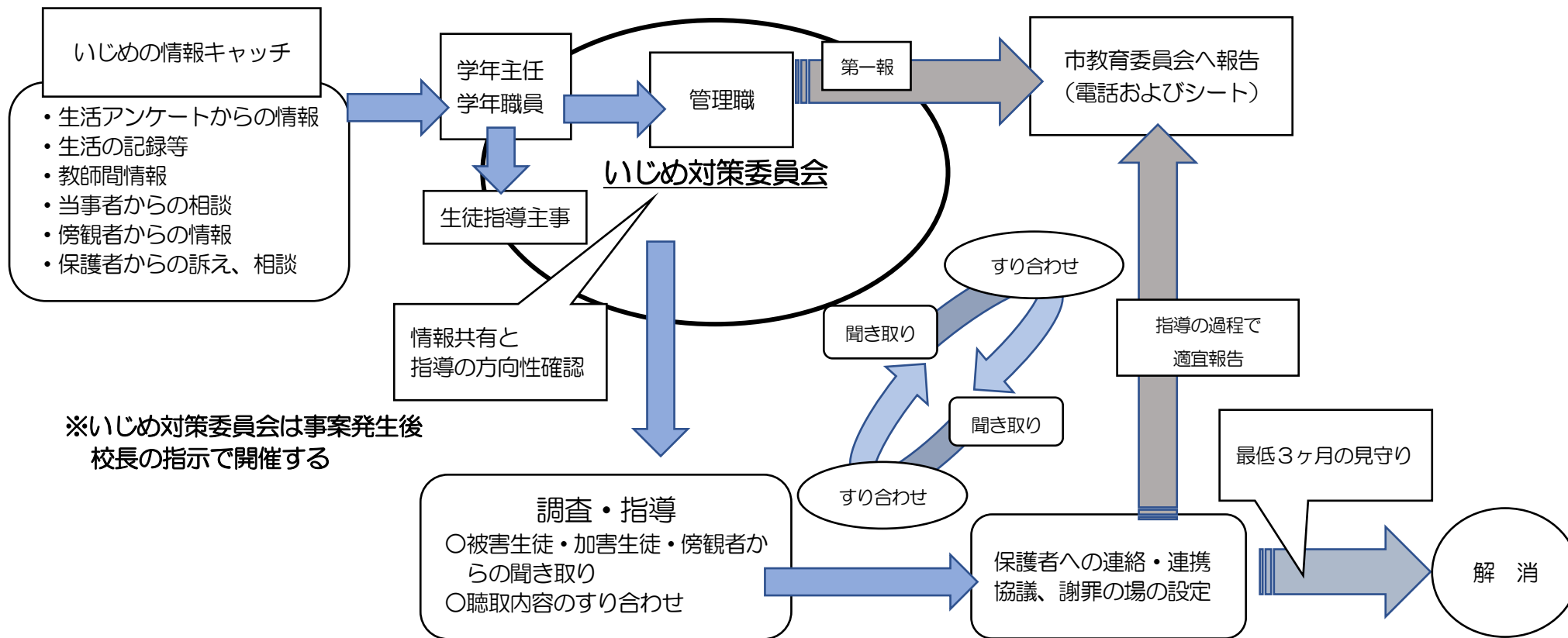


# 滑石中学校 問題行動対応チャート (いじめ)

指導の柱:

- 1 特に真新しい指導ではなく、当たり前のことを丁寧に行う。
- 2 憶測や先入観で判断せず、事実を一つ一つ確かめていく。
- 3 独断しないで、情報を共有し組織で対応する。



※いじめ対策委員会は事案発生後  
校長の指示で開催する

- いじめに理由なしという基本姿勢で被害者を守ることを第一にした対応を図る。
- 「謝罪＝解決」ではなく、指導の過程を丁寧に行うことが解決への道のりであることを念頭に指導を重ねる。
- 関係保護者への事実連絡は必ず教員が直接行う（家庭訪問が原則）
- 保護者が望んでいるのは、早期対応である。保護者も一回の指導でいじめが解消するとは思っていない。学校側が真摯に対応することが安心材料であり、細かく情報を伝えながら、対応を重ねることで、被害生徒も保護者も安心する。